

校訓	友 勤 自 愛 勉 治	 <p>令和6年度 東中だより 第7号</p>	発行日	令和6年6月28日
教育目標	新しい多様化の時代を生きる 心身ともにたくましい生徒の育成		発行者	伊丹市立東中学校 校長 前田 徳三

【豊かな心を育む道徳教育】

先日、ホームページで紹介したように、本校の研究テーマ「自らの将来を切り拓く生徒の育成～生徒が自ら考え、学び、決定する授業・学級づくり～」の実現に向けて、現在、授業力向上に取り組んでいます。5月は「Go To クラスウィーク」と銘打って、教員が互いに授業参観をしてアドバイスをし合いました。6月は「道徳強化月間」を設けています。

この期間は一部の道徳科の授業を学年の他の教員が行い、担任は他の学級や他学年の授業を参観します。それによって、担任は他の教員の参考にしたいところや取り入れていきたいところなどを探し、自身の道徳科の授業力の向上につなげています。1月も同様に道徳授業力UP期間を設ける予定にしています。さらに、2学期には学年のすべての教員で道徳科の授業を行う「ローテーション道徳」を実施します。



本校では、この取組を全国に先駆けて平成23年から実施しています。道徳科の授業は子どもたちの心を育てる教育活動の根幹を成す部分です。そのため、子どもたちに分かりきったことを言わせたり、書かせたりする授業では全く不十分であり、道徳科の授業づくりにおいて、教員の不断の努力が求められています。

そして、何よりも先行き不透明で予測困難な未来を生きる子どもたちにとって「豊かな心」を育む教育は大切です。道徳科の授業を通して、自己の生き方について考え、主体的な判断のもとに行動する力や、自立した人間として他者とともにによりよく生きるために基盤となる道徳性を養ってまいります。



各ご家庭におかれましては、①あいさつなどの望ましい生活習慣、②人を思いやるしなやかな心、③互いを尊重し、認め合う心や態度を育成できるようご協力いただきますようお願いいたします。そして、子どもたちが現在、未来の自己をしっかりと見つめながら、物事を多面的・多角的に深く考え、適切な判断や行動ができるように育ってくれることを期待しています。一緒に取り組んでいきましょう。

【総合体育大会】

一部の競技では6月15日（土）から始まりましたが、大半の運動部活動においては、7月6日（土）から3年生最後の大会となる伊丹市総合体育大会が開始されます。

この大会において、上位に進出した部活動は阪神大会、県大会、近畿大会、全国大会などの大会へ出場することができます。先日、開催経費や運営を担う人員確保、部活動の地域移行、教員の働き方改革などの理由から、令和9年度から9競技で全国大会を中止するという報道がありました。確かに、近年の学校教育に求められる課題が多様化・複雑化し、学校だけでは改善解決しない問題が増えています。その中で、これまで個々の教員の献身的な精神で成り立ってきた部活動の運営についても、学校改革が進む中、仕組みの見直しが始められています。



さて、中学生のみなさんは、総合体育大会をどのような気持ち、心構えで望んでいますか。孫子の言葉に、『彼を知り己を知れば百戦殆うからず』とあります。意味は、「敵と味方の実情を熟知していれば、百回戦っても負けることはない。敵情を知らないで味方のことだけを知っているのでは、勝ったり負けたりして勝負がつかず、敵のことも味方のことも知らなければ必ず負ける」というものです。学習でも部活動でも「何のためにそれを行うのかを考えながら、明確な戦略、目的を持って挑む」ようにしていきましょう。

例えば、バレーボールの練習において、対戦する学校にものすごいアタックを打つ選手がいるとします。すると、できる限り、サーブで相手を揺さぶり、最高の状態でアタックを打たせないように工夫することが大切です。もちろん、自分たちのミスを最小限にしていくことは必須です。では、そのサーブを打つにはどうすればよいか。それは、サーブの練習において、何を考えてサーブを打つかが重要です。「正確さを求める練習なのか、強さを求める練習なのか、コース、深さ、回転の向きや回転量、また、ネットからどれくらい上の位置を通過させるのか、どこに落とすのか」など、自分に何を身につけさせるための練習なのかを意識して行うかどうかで圧倒的に成果は異なります。各部でしっかりと作戦を立て、考えて試合に挑んでください。また、私自身は、ピンチや逆境に追い込まれた際は、あえてチームメイトに笑顔を見せるようにしていました。ここが勝負というときも笑顔でいました。作り笑いでもいいです。笑うと頭が上がり、胸も広がります。胸が広がると、視野も広くなり、考え方などもポジティブになります。さらに、大きな声で笑うと横隔膜が震え、呼吸も深くなります。是非試してください。



今年度の生徒会スローガンでもある「東華爛漫～最高の東中に～」のように、東中学校の子どもたちが、各大会やコンクールなどで光り輝いてもらいたいです。残された時間、心と体をしっかりとコントロールできるように食事や睡眠などに気を遣い、納得できる状態で試合に臨んでください。最後に、東中生の健闘を心から祈るとともに、スポーツや文化活動のすばらしさを感じる熱い夏を待望します。

東中学校の取組や子どもたちの様子をホームページに載せています。是非、ご覧ください。

https://www.itami.ed.jp/school/Jrhigh/jr_higasi/index.html

※右のQRコードをお読みいただき、東中学校のホームページをご覧ください。

学校の様子をクリックしていただくと、最新の情報をご覧いただけます。

